



第 3 9 号

学園創立七十周年

をむかえて

同窓会会長 高女13 湊 くに
(旧 大月)

昭和二年女子文化高等学院として設立された母校は本年平成九年創立七十周年を迎えます。



緑化の進んだ中庭

同窓会として今なら出来る仕事として、平成七年より「卒業生が語る東京文化学園の歩み」の発行を決定しました。石川悦子さん、黒沢教子さんを中心に各校の責任者により委員会が編成されました。各校からの原稿を讀ませていただいた時、その時代時代における変化、「真理は汝に自由を与う」を建学の柱とし、3日精神を教育のモットーとしたすばらしい原稿が多く集まりました。各校の割当て枚数も限定がありますので、委員は大変です。

労もあつたことと思います。学園関係の皆様にも大変協力いただいた由、お陰で順調に滑り出しております。

七十周年記念事業の一環として、学園では新渡戸稲造先生の胸像を記念館前に新しく建立し、森本厚吉先生の像を正門脇に移設されました。中庭の緑化、これも記念事業の一つです。小日向の新渡戸邸跡から運ばれたモチの木も植えられております。皆さんの力で得た事業部の積立金より五〇〇万円を同窓会として寄付いたしました。

又母校からの募金のお願ひに大勢の同窓生より協力していただき、感謝しています。

若い人は十代、上は八十代、各校の幹事長を中心に校内役員が手をたずさえ縦横の「和」をモットーに魅力ある同窓会を築きあげたい。新しい時代にむけて同志の意志の確認をし、前進して行きたいと思ひます。

お願ひがあります。これから私立学校の危機が毎日のように報道され、教育問題、子供の減少、当然いろいろのことが考えられます。同窓会が母校に報いる恩返し、一人でも生徒を送ってほしい、お互いに助けられたり助けたり、悩みの解決に努力

して行きたいと思ひます。

皆さんの協力助言があつて、はじめて東京文化学園同窓会は活動出来ます。母校の隆盛も望めます。私は力の続く限り若い人に迷惑をかけない様母校のため、同窓のために、そして健康第一と信じ頑張つて行きたいと思ひます。皆々様と一緒に七十周年を迎え、声高らかに祝えることを幸福に思つております。

母校を訪ね中庭の憩の場を見にいらして下さい。

Let's get together and celebrate.

母校創立70周年記念総会 11月16日(日)
於 東京プリンスホテル

皆様すでにご承知のように母校東京文化学園は創立七十周年を迎えました。ついでに、七十周年のお祝を兼ねて総会・懇談会を左記により開催いたします。

記

日時 平成九年十一月十六日 午前十一時半

会場 東京プリンスホテル 二階プロビランスホール

会費 一万四千元

プログラム

一、総会

二、アトラクション

日舞 花柳寿之介、花柳京、親帆真伎

三、懇親会

独唱 佐久間美智子、下田昌子

申込方法 同封の振込用紙にてお申込みください。

申込締切 十月二十七日

創立七十周年記念式

学園では創立七十周年を迎えるにあたり、10月25日に学園の体育館で記念式を行うことになった。七十年という年数を考えて、比較的小規模で、在学生の代表、教職員、後援会、同窓会などを中心として行う予定である。

式のと「森本厚吉—新渡戸稲造の愛弟子」の著者である藤井茂氏の記念講演、アトラクションとして同窓生による民謡、レセプションが行われる。

森本儂子先生の思い出

儂子先生の世界に触れて

短大29 間宮 佳子

一九五三年頃だったと思う。

副学長の森本武也先生の引率で、東京家庭裁判所の見学に行った。

正門の傍らに、和服をきりつと着こなした美しい女性が立っていて、その周辺だけ、さわやかな風があるようだった。その方が、武也先生に会釈され、微笑まれたのでおやつと思っ

うれしさを率直に現した美しい笑顔だった。武也先生も微笑されたが、かすかにはにかみも混っ

ていて、恋人同志のように見えたのを覚えている。その女性が儂子先生で、武也先生の夫人と知ったのはその時である。

武也先生は、微笑むことの大切さを、よく説かれたが、微笑と聞いて思い出すのは、いつもあの時のお二人の、心からの笑顔の美しさだった。

そして、儂子先生の葬送式のさなか、突然、輝くばかりの笑みを交されるお二人の姿が浮んだ。心が鎮められるのを感じた。数年前、学生の実習先を巡回

する途中の荻窪で、手早く食事をすませようと、一番すいている店に入ったことがあった。席にいったところへ風のよう

に飛び込んで来られたのは、儂子先生だった。「あなたの後ろ姿が見えたから追いかけてきたの」とにっこりなさると、同じ物と注文された。太極拳の帰りのことだった。

それからのひととき、ほんとうに楽しかった。武也先生の時代の学園のこと、お孫さん方のこと。そしていつものように染織、人形、本などの話になった。

お目にかかる度、先生の世界の豊かさ奥深さには、驚かされる。この日、先生は堀柳女の人形のすばらしさや、与勇輝人形展が楽しくて二度見たことなどを話された。与勇輝の大正期の子供の人形が特に好きとも言われた。そして河口湖畔の人形館を勧められた。また、幸田文の作品から受けた感動にも触れられた。そんな話題のとき、いつも、端正な先生の奥から、純粹で好奇心満満の少女が顔をのぞかせる。

その店の料理について先生は、何もおっしゃらなかったが、何か申し訳れない気がして、この次はほんものを御一緒にとお願

いして別れた。だが、その機会はどうとうこなかつた。ゆりの木の花の満開をお目にかける約束も、果たせなかつた。

同じ頃のお便りに「デパートのデモンストレーションで、俄型コロッケを作っていたら御様子

を思い出しました。」とあった。私自身も忘れていた四十年も前のことを、細部まで覚えて

いてくださったことに驚き、感激した。思い出してみると、儂子先生が、私達卒業生に、常に温かなまなざしをさりげなく注いで

いてくださったことに気付く。見守る瞳を感じることで、卒業生達がどれほど力付けられたことか。

その葉書を今、読み返してみると、それに続く「みんなが若かつた頃です。」の文字が胸を打つ。

一昨年、中川悦先生とお訪ねした時、儂子先生は、身辺の整理を既に終えられた御様子だった。帰り際に、幸田文さん

の「娘青木玉さんの本に感動したと言われた。その本『幸田文の筆筒の引き出し』の最後の章に

は、意識の無い母の枕辺で、自分の白い振袖を切り、寝食を忘れて、母の旅立ちの衣を作る娘の姿がある。胸が迫って思わず、先生のマーメイド好きです。また作ってくださいと口走って

しまった。何という心ない言葉

を口にしてしまったのだらう。体調が優れず、銀座がとでも遠く思われると話された先生に、儂子先生は、束の間、私をみつめ、そしてほのかな微笑を浮かべられた。それだけだった。

儂子先生には、たくさんのことを教えていただいた。推理小説の楽しさを、美術工芸品の魅力を、現実を直視することを、困難を受け止める勇気を、心豊かに暮らすすべを、そして何よりも、ほんものの人間の、気品

高い生き方というものを。先生の世界に触れたことによつて、私の日目が、どれほど温められ、豊かなものになったか測り知れない。

儂子先生、ほんとうにありがとうございました。

略歴

森本儂子先生(故森本武也学園長夫人、森本光生評議員並びに森本晴生常務理事のご母堂)は、東京文化中学・高等学校、医学技術学校、短期大学で教鞭をとられ、学園理事、評議員を歴任されました。

平成九年三月十九日逝去。享年七十七歳。



儂子先生が20歳ごろにカナダで描かれた絵

森本儂子先生を偲んで

短30・現短大教授

下田尾 洋

短大四期生の還暦同期会を一九九五年五月十八日に信州浅間温泉にある同級生の山崎さち子さんの旅館で開催いたしました。森本儂子先生と白鳥雅子先生をお招きし、二日間楽しいひとときを過ごすことができました。

お二人を囲んで夜の更けるのも忘れ学生時代の思い出に花が咲きました。四十年も経っておりますのに、私たちのことをよく覚えていらつしやるのに驚きました。そのときの毅然とした中にも慈愛に満ちた儂子先生



同窓会国内旅行で

右端が儂子先生

のお話しに、親しみと敬愛の念を一層強くいたしました。

私たち学生時代は戦争の傷痕もようやく癒え、日本は民主主義国家として歩み出した頃でした。しかし、職場や家庭における女性の地位は未だ低く、折りに触れ女性であることの不条理を感じておりました。

当時、私たちは森本武也先生に憲法、家族関係を、儂子先生に英語を教えていただきました。お二人とも民主主義教育に情熱を注がれ、身をもって範を示されました。特に、教師・妻・母・嫁の四役をお持ちの儂子先生の洗練された知的なお姿は、私たち女性の憧れの的でした。

学生にご家庭を開放され外国のお客様をお招きになったとき、英会話の勉強になるからと声をかけていただき、お手伝いに伺いました。ご夫妻でお客様と楽しく対話され、私たちにも会話に参加するようにすすめてくださいました。大変緊張したことを思い出しますが、貴重な体験をさせていただき、お二人が理想の家庭像として強く胸に残っております。

その時、杉野(旧姓久米野)さんも一緒にいたが、儂子先生がサンドイッチの耳を切ることに

はないのよとおっしゃったことなど鮮明に覚えていて、飾らない合理的なお考えに感心したと話しております。また、森本静子学長先生へのご夫妻の対応を拝見し、お互いに尊重し合う親子関係に自分がお姑さんに仕えてみて、改めて教えていただいたことが多かったと同期会のと

き儂子先生にお話してました。森本武也、儂子先生が授業の中だけでなく、積極的に学生に溶け込みお話しをしてくださったこと、体験させていただいたことが、その後の各自の人生に大きな心の支えになっていることを同期会で深く感じました。

いつまでも私たちの心の中に儂子先生のお教えが生きつづけています。森本儂子先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。今は亡き儂子先生を偲んで

高女19 大池光子

多くの方が敬愛してやまないすばらしい儂子先生が天に召され早四ヶ月、未だ信じられず夢の様な気がしてなりません。先生と親しくお近付きさせて

頂く様になりましたのは、今から二十五年程前になります。同窓会

のご縁でお会いし、お宅も近いので、何かとお伺いさせて頂いたり、旅行にも度々ご一緒させて頂きました。お逢いする度に頭の下がる無言の教えを頂き、よい思い出と心に深くしみ込んでおります。

少し体調をこわされた時も、あたたかい御家族や皆様方に守られご回復なされ、御自身の勉強やボランティアのお仕事にもお心を遣われていらした、お元氣なお姿が浮かびます。

外出もなされる様になり、一緒に展覧会に出かけた時には、家にもお寄り下さって楽しい思い出も沢山ございました。

お元氣な先生に最後にお目にかかれたのは、お倒れになられた日の午前中で、お電話で一寸来て欲しいとの事、早速伺いましてエプロン姿で働いていらしたご様子、びっくりして「先生何をなさっていらしたのですか」と伺いましたら「庭の手入れよ」とおっしゃって笑っていらしたのです。

実はその前日お兄様の一年祭で麻布へ行かれ親類の方々とお逢いになられたとの事、「おいしいお菓子をいただいたのでお茶と一緒に」とおさそいくださり、色々お話を楽しく過し

てまいりました。帰りがけに私は「先生、お願いですから決してご無理はなさらないで下さい。用があれば電話をして下さい。すぐお手伝いに参ります。大切なお体ですから呉々も願います」と申し上げてドアの外に出ました。その後先生はドアを開けられ、「さようなら」と手を振って下さったのです。その日の午後お倒れになったのです。その「さようなら」が最後のお声になるうとは……。

入院中、お見舞にお伺いし、再びお元氣になれる様祈りながら、「儂子先生」とお呼びすると、目をあけられても声はございませんでした。ご回復もなく残念でございます。

先日懇お会にお伺いさせて頂き先生の隠された才能、お人柄人々に対する思いやり、愛情の深さ等々、御出席の皆様からのお話をお聞きしました。益々儂子先生に尊敬と思慕が深まる思いでいっぱいございました。

先生本当に色々とお導きいただき有難うございました。そして御苦労様ございました。心から「みたまやすらかに」とお祈り申し上げ御礼申し上げます。

白鳥雅子先生を偲んで

旅行好きな白鳥さん

短29・高27 池田 洋子
(旧 岡村)



スイス・ウエンデンで
右から3人目が白鳥先生

別れは突然にやってきました。白鳥さん、貴女は今どこに居るのでしよう。私達の前から、昨年10月27日に姿を消して以来、早くも半年以上過ぎてしまったのに、マーちゃんも胸の中で呼びかける時、コロコロ太ったスーツ姿と共に、やや高い声が、心

象風景の中から浮かび上つて来ます。貴女を知る友人、知人と話をする度に、私は喉の奥に、つき上げるもので、まともに声にならず、目がしらがあつくのです。これが現実である。と受け止めざるを得ません。彼女との思い出も、余りにも長いことなので、最近の事をお話します。亡くなる三日前、新宿の甘味処で会った時は、一方的に武也先生、宮田先生、根岸先生の昔話ばかりをしていました。今思うと、彼女の精神構造は、すでに彼岸からのお迎えを知っていたのかと思うと不思議でなりません。

彼女の旅行好きは有名で、旅行の問い合わせには、確実な時刻とアクセスが返って来ますので、時間の許すかぎり、福島の三春滝桜のお花見や同級生の目崎さんの墓参、雪の新潟にも出かけた事は度々あります。中でも、トミオカ・ホワイト美術館の雪景色は忘れられません。ゆったりと流れる時間に、スケッチをする私、コーヒーを飲みながら、こつくりする彼女の姿は真白に、ぬりこめられた一頁です。旅といえば、毎年の同窓会の海外旅行は、彼女の文化3日精神が生かされた存在なしには考えられないでしょう。先輩、後輩を問わず彼女の「寛き心」と「はたらく手」に感謝された事でしょう。

スイスでの一枚の写真は、旅のお供に、守護神として荷物の中で、そして、日々の私の心の中に一生住み続けて行くでしょう。

合掌

白鳥雅子先生 今 どのあたりを旅しておられますか？

旧職・短32・高30 小島 圭子

先生がお出かけになって以来、心にぽっかり空洞があいてしまいました。何かにつけ「先生に話して見よう」と、電話に手をのばしそうなこの頃です。

「どうかしましたか？」おだやかなお声に、いつもやすらぎを感じておりました。もう二度と、お目にかかれなくなつて、共にすごした学園での日々が例えようもなく大切に思えてなりません。

若い頃の私にとって、欠点ひとつ見せず、ていねいな、しかもきっぱりとした話し方をなさる先生は、冷たく近寄りがない存在でした。ある日、その先生に對し、事もあろうに口論をしかけ、夜九時すぎまで激しい言葉のぶつけ合い、ほとんど「けんか」状態だったとおぼえています。

雨降つて地固まるの例えの通り。それからの先生は、私をお仕事の仲間に加えて下さり、体育科の仕事からは多くの事を学ばせて頂きました。

同窓会の事業部と一緒にしませんか？と誘つて頂いて以来、夢中ですごした年月の、どこを思い返しても白鳥先生のお姿が見えます。観劇会や旅行、バザーと回を重ねながら、すこし気持ちゆとりが出来たかと思う頃から、先生の御様子に気がかりでなりません。

それがお別れにつながろうとは思ひもよらず、本当に先の事は分らないと知らされました。

名作「青い鳥」の幼い兄妹のように「思ひ出の国」をお訪ねしてもよろしいですか？先生が発行して下さった約束手形を持って行きます。きつとお目を細くしておっしゃるでしょう。

白鳥先生の略歴

白鳥先生は、昭和二十九年に東京文化短期大学をご卒業になり、同年四月に短期大学助手に就任されました。昭和五十年には専任講師となられ、栄養士校外実習を担当しながら、学生課係長の責を果し、五十八年に学生課長、平成元年からは教務課長も兼務されていきました。平成七年には全国栄養士養成施設協会から永年功労の表彰も受けていられます。

先生はお忙しい公務の傍ら、同窓会の仕事にも積極的に関与されました。白井前会長、湊現会長の信頼も厚く、特に事業部の責任者として海外旅行、観劇会等の催しにはなくてはならない方でした。

平成八年十月二十七日、ご自宅で急病のため逝去されました。享年六十三歳。

働く女性のために始めの一步

「芝信用金庫男女昇格差別訴訟」の原告団長として……

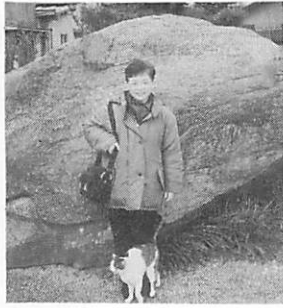
笹本さんは、御家庭にあつては妻であり、四人の子の母として頑張つていらつしやる傍、職場に於ても活躍。

労働省の「男女雇用機会均等法」をより実効性のあるものにするための見直しに、昨年十一月の勝訴の判定結果は世の評価が大きい。

職場での男女平等を求めて

小29高35 笹本美園

私が高校を卒業して芝信用金庫に入職したのは昭和三五年、最初に配属されたのは神田支店で、とても楽しい職場でした。労働組合（芝信用金庫従業員組合）もあり、組合員資格のある人は全員組合員でした。



写真は笹本美園さん

そういう職場でコーラス部に入つたり年一回の文化祭では演劇をやつたり、学生時代の延長のような雰囲気も味わうことが出来ました。しかし昭和四三年

に組合が分裂、金庫経営者と一体となつた第二組合が出来、私は労働組合の使命である働く者の権利を守ってくれる芝信用金庫従業員に残りました。

その後私達の組合に対する攻撃も強まり一七名もの解雇者を抱える労働争議となりました。その争議も昭和五五年全員の解雇撤回を勝ちとり解決しましたが、賃金の是正については当時の職場状況に合わせて男女差のある解決となりました。私の場合で同年令の男性と比べて月に八〜九万円、年収で二〇〇万円との差となりました。納得いきません。

勤続を積み重ねても女性はいつまでたつてもヒラの単純な事務の仕事のくり返し、男性は融資の受付など経験し昇格試験に合格して昇格していくのです。仕事の経験に差があるのに女性には不利な試験です。

定年までこのままではイヤ、責任のある仕事をしていきたくと働き続けたい、賃金の差もがまんできない、と女性組合員一三名全員が原告となつて、男女の昇格・昇進・賃金差別の是正を求めて昭和六二年二月東京地裁に提訴しました。

裁判の中で金庫は、「女性は能力がない。原告は昇格試験に合格していないから昇格はあり得ない」と主張しましたが、私は職場の格差の実態、男性は年功で昇格している事実など明らかにしていきました。そして九年五月かかりましたが、昨年十一月二七日、課長職の地位の確認という画期的な判決を勝ちとることができました。

提訴してから物理的には忙しい思いをしました、いろいろな人と出会い、そして多くの人からの励ましをいただきました。檉山文枝さんに一文を寄せてもらった闘いを広めるパンフレットを高校の同期会で買ってもらつたり、本当に学校の仲間についてですね。裁判の傍聴にかけてくださいました人もいます。

判決はマスコミにも大きく取り上げられましたが、女性の働く歴史に新しい一ページを開くことが出来たうれしい内容でした。

た。しかし、裁判は終わったわけではありません。双方で控訴しましたので、これから東京高裁での審理ははじまります。私自身資格も賃金もまだ是正されていませんが、職場の第二組合の女性の期待を感じながら、平等の実現のため、東京高裁での勝利めざし、たつた一度の人生、これからもがんばつていきたいと思ひます。

きつな

石川 悦子

東京文化学園創立七〇周年を記念して、「同窓生が語る七〇年の歩み」を出版する話が出て二年が経ちました。その間に多



くの皆様から写真やお手紙を頂きました。特に萩谷孝子様からは貴重な新渡戸稲造先生が扇面にお書きになられた書でした。写真に添えられたお手紙によりますと、義母にあたる木野邦子様（後に萩谷）は、昭和初期に本学専門学校で家政科の教師をして勤務されたとのこと。昭和十八年に他界されました。

その後ご子息様（萩谷納氏）と孝子様とが結婚されました。納氏（東京音楽学校卒、桐朋学園勤務）は、森本武也先生とご懇意の間柄で、請われて本学にも音楽教師として、昭和二十四年アメリカ留学をするまで勤務されました。

戦災におあいになった中でお義母様のお持ちであった唯一の形身の中にあつた新渡戸先生の書を孝様が頂いたそうです。当時からもう歳月が余りに過ぎ保存状態がよくなくて残念ですがとのお断わりがありますが、自分が持っているよりもこの機会に「学校にお返しさせて頂きます。」とのことでした。

同窓会誌「泉」のご縁でこのような嬉しいめぐり合いができたことを深く感謝致します。有難うございました。

(七十年史 委員長)

部会だより

「高女・高校部会」 統合の第一歩

これまで別個に活動を続けて参りました高女部会、高校部会では、かねてより統合をとの声を上げておりました。

昨年、それぞれの部会総会の折、御出席の皆様から、満場一致の賛同を得、本学園創立七十周年を機に実行の運びとなりました。さきがけまして、高女・高校の各期代表幹事の方々に呼びかけ、去る五月二十五日(日)お集り頂く御案内に対し、高女部会11名、高校部会16名の方々が御出席下さいました。

両部会の御出席の皆様は、同窓会に対する協力度、関心度も大変高く、有りがたいこととございます。

湊会長の御挨拶を皮切りに、御出席の皆様より、自己紹介を兼ね活発な御意見頂くなど、和気あいあいと、親睦のひとつきに、あつという間の二時間でし

毎年、活気ある二百名近い若い新会員を迎え、円熟した先輩方との融合は、強い絆で結ばれ、今後の活発な活動が期待されます。そして会の名称も「むつみ会」との意見が出されました。(三雲保子記)

リブラ会(医技同窓会)からのお知らせ

役員改選

平成九年七月の幹事会で新しい役員候補者を次のように決定した。幹事長(小栗豊子)、副幹事長(白石一枝、安達房代)、会計(市川喜美子)。正式にはリブラ会総会で承認を得た後に決定される。リブラ会は会の活性化を目標に、各学年幹事の連絡網の整備を行うので、会員の協力をお願いする。なお、総会は本年十一月十六日の東京文化学園同窓会の記念総会と兼ねて行うので、一人でも多くの方に参加をお願いする次第である。会員の表彰、受賞

藤原ムチ氏(七期卒)は日本臨床検査技師会の理事として長いこと奉仕されたことに對し、本年五月に厚生大臣の表彰を受けた。氏は輸血検査の分野で活躍され、日本輸血学会の評議員を務め、母校で学生を教える傍ら、国内、国外で活躍中である。

白石一枝氏は本年五月「血液分離のスタフィロコッカスの薬剤感受性試験と免疫学調査、メックA遺伝子、菌血症の検討」、の業績に対し、第九七回東京都衛生局学会優良賞を受賞した。氏は長年都立駒込病院で細菌検査を担当された。特に最近では大腸菌O157やビブリオなどの下痢症の検査に研鑽されている。

小学校部会 直木賞受賞おめでとう ございます



小学校卒業生の快挙をお知らせ致します。この度、十一期生

の岩戸康次郎氏は、第百十七回直木三十五賞を受賞されました。おめでとうございます。

岩戸氏のペンネームは「浅田次郎」。子供のころから本を読むのが大好きで、図書室の物語本をほとんどを読破するほどだったそうです。卒業後は駒場東邦中学校に進学し、小説家になるうという気持ちを抱いたのはその中学一年のときだったそうです。

受賞作品 浅田次郎 「鉄道員」

岩戸氏の受賞に際しての言葉です。

ほんの子供のころ、万華鏡で覗いた物語の世界にそのまま吸い込まれてしまった。以来、涯しのない鏡の部屋で飽くこともなく色紙を切り刻み、ひとり遊びのアラベスクを楽しんできた。だから工夫はしたが苦心はしてない。苦勞も苦節も無縁である。好きなことを好きにやったあげくに立派な賞などいただけのだから、つくづく果報な奴だと思ふ。

ずっとこの贅沢を続けたい。神様には叱られるかもしれないが、これが、天職だと思うから。

芥川賞・直木賞合同贈呈式と表彰パーティーが、去る八月二十二日、東京会館でおこなわれました。小学校からも、岩戸氏の小学校時代のようすを知っている第五代校長永山義夫先生と同期生の河原英一氏がお祝に駆けつけました。なお、小学校同窓会と十一期生の会からお祝の電報が送られました。

直木賞選考委員の田辺聖子さんと黒岩重吾さんは、受賞作品の「鉄道員」を次のように寸評し、賞賛しています。

田辺聖子さん

「鉄道員は何とも気持ちよく泣ける小説が開巻からつづく。私は「角筈にて」が好いと思つたが、「鉄道員」も「ラブレター」もあと味がいい・・・」

黒岩重吾さん

「・・・「鉄道員」に収録された諸短編は、計算去れ尽くした作品で、余分な贅肉を削り落し、読者に夢を与える小説の揺り籠を作った・・・」

どうぞ読んでみてください。最後に、岩戸康次郎(浅田次郎)さんの今後のいつそこの活躍をお祈り致します。

” VERITAS VOS LIBERABIT ”
「真理は汝等に自由を与う」 (新約聖書ヨハネ8章)

沿革

- 昭和 2年 女子文化高等学院を東京市本郷区元町(現文京区本郷二丁目)に創立する。役員は理事長に法学博士森本厚吉、理事・法学博士吉野作造、理事・医学博士橋本寛敏、学院長には森本静子が就任する。
- 昭和 3年 専門学校令により女子経済専門学校と改称する。初代校長に新渡戸稲造、理事長兼副校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和 6年 現在地所在の成美高等女子学校を引継ぎ、附属高等女子学校と改称し、新渡戸校長が兼任する。
- 昭和 8年 新渡戸稲造校長逝去により、森本厚吉が校長に就任する。
- 昭和 9年 東京都中野区の現在地に移転する。
- 昭和 19年 東京女子経済専門学校と改称し、経済科・保健科・育児科を設置する。
- 昭和 21年 英文科を設置する。附属幼稚園を開設する。
- 昭和 22年 学制改革により、附属高女は東京経専中学校および同高等学校に分かれ、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和 23年 東京経専小学校を開設し、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和 25年 森本厚吉校長が逝去したため、森本静子が校長・園長に就任し、橋本寛敏が理事長に就任する。
東京文化短期大学(家政科)を設置し、学長に森本静子が就任する。東京経専高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園を東京文化高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園と改称する。児童研究所を新たに設置する。
- 昭和 26年 学校法人東京文化学園を設立、理事長に橋本寛敏が就任する。従来の専門学校は発展的に解消する。
- 昭和 27年 短期大学内に医学技術研究室を開設する。
- 昭和 30年 東京文化医学技術学校を開設する。医学技術研究室は発展的に解消する。
- 昭和 37年 森本厚吉博士の銅像を学園内に設置する。
- 昭和 39年 森本武也が学長に就任し、森本静子は学園長に就任する。浅間高原寮を長野県御代田町に開設する。
- 昭和 46年 任期満了のため橋本寛敏理事長が辞任し、大浜英子理事が理事長に就任する。
- 昭和 47年 医学技術学校長に医学博士守屋博が就任する。
- 昭和 49年 幼稚園長・小学校長に鈴木光雄が、中学校長・高等学校長に土居孝輔が就任。理事長に大久保安威理事が就任する。
- 昭和 51年 創立50周年記念事業の一環として杉並区和田一丁目に約3,300㎡の校地を購入する。
東京文化医学技術専門学校臨床検査学科と改称。
- 昭和 52年 創立50周年記念式典を挙げる。東京文化学園五十年史刊行。
- 昭和 53年 幼稚園長・小学校長鈴木光雄の逝去により、幼稚園長に森本光生が就任し、小学校長に永山義夫が就任する。
- 昭和 54年 幼稚園・小学校新校舎が、杉並区和田1丁目に竣工し、二学期から授業開始。
- 昭和 56年 医学技術専門学校長に医学博士福岡良男が就任。旧二号館、四号館、七号館を解体し、跡地に体育館を建設。
- 昭和 57年 小学校長に橋本正礼が就任する。
- 昭和 59年 森本武也が名誉学園長に就任し、短期大学長に理学博士佃正晃が就任する。幼稚園長に橋本正礼が兼務する。
- 昭和 61年 桃園寮を閉鎖し、新校舎の建築を始める。短大八号館を解体。同窓会館を新築する。
- 昭和 62年 桃園校舎を新築し、専門学校東京文化学園ビジネスアカデミーを開設し、校長に福岡良男が兼務する。医学技術専門学校を桃園校舎に移転する。短大二号館を増築する。
- 昭和 63年 中学校長・高等学校長に黒澤教子が就任する。
- 平成 4年 医学技術専門学校長に本間伊佐子、ビジネスアカデミー校長に大久保忠昭が就任する。
- 平成 6年 中学高等学校長に小林弘志が就任する。
- 平成 7年 短期大学長に理学博士村松一郎が就任する。
小学校長に山田庸夫が、幼稚園長に丸 翠が就任する。
- 平成 8年 新渡戸稲造博士の銅像を学園に設置する。



創立者
森本厚吉先生



初代校長
新渡戸稲造先生

あなたの良き後輩としてふさわしい

学生・生徒・児童・園児の

ご紹介を!

卒業生の皆さんへ

理事長 大久保安威

昭和二年に女子文化高等学院として創立した東京文化学園の同窓会は、全国に支部31か所、同窓会員数二万余となりました。

創立者森本厚吉先生、初代校長新渡戸稲造先生の建学の3日精神を實踐し、各方面で社会に貢献されている卒業生の活躍は、後進の者の誇りと、大きな励ましとなりました。

また、卒業生のお子さんやお孫さんが母校に入学され、伝統ある校風と、新時代に即した教育を受ける姿を拝見することは、学園にとって力強いことで、皆様の信頼にこたえるよう教職員一同努力しています。

同窓会の皆様には、学園祭、総会、クラス会など折にふれて学園に来ていただき、明るい校舎と充実した教育環境に、高い評価をいただいています。

十一月二日、三日に開催される学園祭では「学園の歴史展」を開く予定ですので、多数の皆様のご来園をお待ちしております。

今年には創立七十周年を迎え、記念式典開催など、皆様の協力のもとに学園は着々と発展を続けております。

ついでに。

また、卒業生のお子さんやお孫

東京文化学園
入学案内無料頒布

入学案内をご希望の方には、無料で頒布しております。各学校の教務にご請求ください。

今年には創立七十周年を迎え、

記念式典開催など、

皆様の協力のもとに学園は着々と

発展を続けております。

十一月二日、三日に開催される

学園祭では「学園の歴史展」を開

く予定ですので、多数の皆様のご

来園をお待ちしております。

短期大学の近況

学生アンケート調査

短期大学は以前一九七六年に施行された文部省令である、短期大学設置基準に基づいて運営されてきました。この省令には細かい基準が数多く定められていましたが、一九九一年になって大綱化され、細かい規定は廃止となり、運営はそれぞれの短期大学に任せる部分が多くなってきました。

その代わり、各短期大学は学内に自己評価の組織を作り、自らを評価して改善するよう求められました。それを受けて本学に於いても、昨年自己点検・評価委員会が



クッキー作り挑戦
キャンパス見学会模擬授業

発足し活動を開始致しました。

この委員会は本委員会の下に種々の小委員会があつて、本学を色々の角度から点検し評価する組織です。

その評価活動の一環として、昨年度末から学生アンケートを実施しております。内容は授業、行事、施設、学生生活など多岐に亘ります。結果の詳細はいずれ印刷物として公表されますが、我々は可能な限り学生の要望を実現するよう努力するつもりです。

キャンパス見学会

昨年度から始めた高校生を対象とするキャンパス見学会を、本年度は七月二十日に開催いたしました。

参加者は百十名と昨年度以上に盛況でした。内容は短大の概略説明、進学相談、施設案内、模擬授業と豊富で、特に模擬授業は好評でした。単に説明を聞くだけではなく、実際の授業を体験することで高校生には短大のイメージがはっきりつかめたことと思います。

キャンパス見学会の最大の目的は応募者数の確保にあります。応募者が減少すればそれだけ入学してくる学生のレベルが低下します。優秀な学生を確保するためには、時代のニーズに合致した教育をすることが肝要なことは勿論です。

が、広報活動も大切であり、キャンパス見学会は非常に有効な広報活動の一つです。

ご承知のように十八歳人口は、一九九〇年頃の約二百万人をピークに漸減し、二〇一〇年頃には約百二十万人になります。その影響を受けて、本学の応募者数も一九九三年をピークに減少を続けてきましたが、昨年度は一昨年度に比べて約二倍に増加致しました。これは人間環境コースの設置、英国研修の開始など授業内容を充実したこと以外に、キャンパス見学会の効果が大きかったものと思われ

つながったパソコン三十二台を設置して、パソコン教室を作りました。

現在一週間に七コマの授業あり、百九十三名の学生が受講しています。内実を申せば、受講希望者ももっと多かったので、一コマの受講人数に限りがあるため、かなりの学生については断わらざるを得ませんでした。来年度はコマ数を増やしたいと思っております。

授業は現在のところ、ワープロと表計算が中心です。今後いくつかの研究室では卒業研究の学生に栄養計算、運動計算、統計処理等も教える予定です。また授業の空き時間に教室を学生に開放していますが、中々好評で多くの利用者があります。実験・実習レポートや卒業論文を大部分の学生がワープロで書く時代はすぐにやってくるでしょう。

中学校・高等学校でのパソコンの普及速度は目を見張るものがあります。近い将来には、ワープロと表計算はほぼマスターした新生が多数入学してくるでしょう。そうなれば短大では、栄養計算など社会で実際に使われているソフトを使つての授業が中心となります。この例でお解りのように短大は授業内容充実のために種々の努力を重ねております。

模擬授業の写真を示します。
本年度第二回目の見学会は、九月二十七日(土)に行つて予定です。

パソコン教室

これからの社会で活躍するにはパソコンの習熟が不可欠です。そのため従来から行ってきた情報機器演習の授業を充実させるべく、二番教室を改造しネットワークで

学生募集要項 家政科

家政科女子 150名
(推薦入学90名、試験入学60名)
■食物栄養コース (栄養士免許取得)
■人間環境コース (余暇生活相談員資格)
生活健康サブコース
生活文化サブコース
教職サブコース
(中学校2種家庭科教員免許取得)
お問合せ
短大教務部 03-3381-0197

出願方法	願書受付期間	試験日	合格発表	試験科目および必要書類
推薦入学	11月7日～ 11月14日 4時必着	11月18日	11月19日 郵送	●面接 入学志願書・調査書・健康診断書 推薦書
試験入学	1期 1月22日～ 1月29日 4時必着	2月3日	2月4日 本学揭示	●国語 I・II, 生物 I B, 化学 I B, 英語 I・II より 1科目選択 ●面接 入学志願書・調査書・健康診断書
	2期 2月17日～ 2月24日 4時必着	2月27日	2月28日 本学揭示	

医学技術専門学校の近況

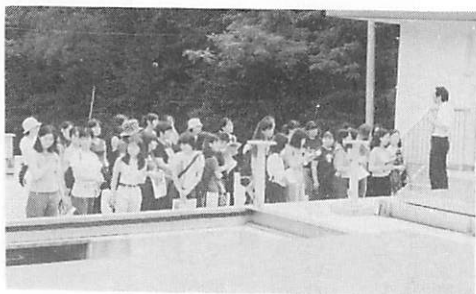
二年生軽井沢研修始まる

平成七年まで一年生の行事であった「軽井沢研修」は、今年度より二年生の行事となり、公衆衛生見学などを含めた新しい取り組みとして七月、二泊三日の日程で実施された。交通には大型バス二台を使用した。初日はお昼を佐久の「峠の釜飯」ですませ、軽井沢市街に入り、三笠会館裏手の「愛宕浄水場」の見学に向かった。森林浴と言いつつ約四十分の行程はハイキング。すっかり汗をかき登りつめた所が浄水場だった。小規模ながら夏期人口を二万人と想定し、安定した水供給を担っているという。

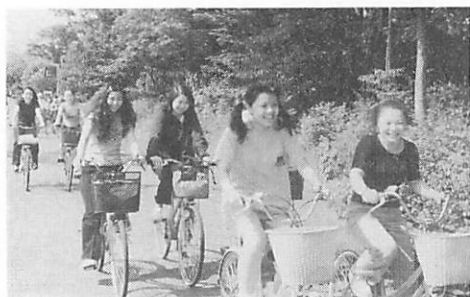
一日五、〇〇〇トンの取水量は裏手に広がる国有林(原生林)を流れてくる自然水を取り入れる。消毒前も飲める程で「清らかさ」は東京ではとても味わえない。

寮に着くと、飛んで来る虫の多さに苦手な声をあげる学生もいて改めて、自然に囲まれた環境は他の生物にも住み心地が良いという認識を忘れていないことに気づかされた。

夕食は軽井沢プリンスホテルでのフランス料理フルコース。「デー



軽井沢浄水場見学



旧軽井沢サイクリング

ブルマナー」について丁寧な説明を聞きながら、落ちついた雰囲気の中、サービスを受けながら改まった食事をするのもたまには良い体験と思う。固苦しいと思わずに「料理」を色、形、香りと味わいましょう。

二日目は恒例の消火訓練ではじまった。消火器の扱いを体験した後、三班に分れてサイクリングに出発。賑わう軽井沢周辺を爽やかな風と共に思い切り走り回った。夕食後はお楽しみの親睦会。学生たちのアイデアに関心したり、思わぬ才能を発揮させたり楽しませてもらった。

最終日は良く晴れ渡り、浅間山を眺めながらバスは一路、清里高原へ。清泉寮は人気のある場所だけに人も多かったが、雄大な八ヶ岳と富士山を目の前にしながらのお昼は気分が良かった。名物のソフトクリームはやはり人気。

食後、山梨の「サントリー白州蒸留所」で最後の見学を行った。名水を求めてこの白州の大自然の中にウイスキー工場を作り、温度管理も自然のまま、お酒が眠る貯蔵庫は冬は0度以下になる事もあり、それが旨いウイスキーを作る。そんな説明を聞きながらいただく飲み物は又、格別な味。案の定、帰りのバスの車内は静かなこと。目が覚める頃には熱気ムシムシする夕暮れの新宿の街に無事到着した。

平成九年度就職状況

最近の日本の経済状況は多少上昇方向にあると言われてはいますが、医療界ではまだまだ厳しさが続いています。その中で本年も新しい臨床検査技師が誕生しました。

東京大学病院(2)、千葉大学病院

(2)、昭和大学病院(3)、東京医科大学

八王子医療センター(1)、聖マリ

アンナ医科大学病院(2)、東邦大学

大森病院(1)、慶應大学病院(2)、獨

協医科大学越谷病院(1)、東京女子

医科大学病院(1)、杏林大学病院(1)

慈恵大学病院(1)、日大付属練馬光

が丘病院(1)、虎の門病院(1)、三井

記念病院(2)、公立昭和病院(1)、千

葉県立がんセンター(1)、戸田中央

総合病院(1)、慈生会病院(1)、同愛

記念病院(1)、東京警察病院、東邦

鎌谷病院(3)、佐々木病院(1)、日立

総合病院(1)、小豆沢病院(1)、荻窪

病院(1)、甲府共立病院(1)、済生会

栗橋病院(1)、熊谷福島病院(1)、町

田予防医学協会(1)、社会保険鷺谷

健診センター(1)、ヘルスチェック

(1)、アモルクリニック(1)、住友金

属バイオサイエンス(1)、(株)東京大

塚アッセイ(1)、(株)エスオールエル

(3)、ラボス(株)(1)、帝人バイオラボ

ラトリー(4)、保健科学研究所(1)、

クレハ分析センター(1)、T I S シ

ステムマネジメント(株)(1)

(1)

以上

()内は人数です

以上

学生募集要項		選考方法	推薦入学	試験入学
募集人員	64人	願書受付	平成9年10月1日(木) ~10月8日(水)	平成9年11月17日(月) ~12月9日(火)
修業年限	3年	選考日	10月13日(月)	12月11日(木)
入学資格	高校卒業又は同程度の者	合格発表	10月14日(火)	12月12日(金)
出願書類	入学願書、出身校の調査書、健康診断書、推薦入学の場合 は出身校の推薦書	試験科目	「数I、化IB、生IB、物IB から2科目選択」・面接	「数I、化IB、生IB、物IB から2科目選択」・面接
お問合せ	医技教務 03-3381-0121	*二期募集があります。 詳細は「学校案内」をご覧ください。		

中学高等学校

伝統のある国際教育が評判 最近是他大受験も増える

東京文化中学・高等学校

(進学ガイド掲載)

スクールウォーキング

◆ぼくの学校・わたしの教室◆

海外研修は21年の歴史

毎年100人近くが参加

東京文化学園は吉野作造、有島武郎らとともに大正デモクラシーを推進した森本厚吉によって創立され、その恩師、新渡戸稲造が初代校長を務めた歴史ある学校。大正デモクラシーの「文化生活運動」の中で生まれ、その精神は校名の中に「東京文化」にも名を残している。現在も行われている授業前や朝礼時の「1分間の沈黙」は新渡戸校長以来の伝統という。

国際的な視野を大切にしていた森本、新渡戸の思想を継ぐ同校の国際教育には定評がある。最近海外研修を行う学校が多いが、同校のカナダ研修は今年度で21年目の歴史を持ち、8年前から行われているヨーロッパ研修と合わせれば、毎年100人近い生徒が参加している。

高1でカナダ、高2でロンドン・アイルランドと2年続けて海外研

修に参加した坂本智美さんは「ホームステイは1人だったんで、単語を並べたり必死でしたけれど、英語に自信がついたし、コミュニケーションのとりかたが身についたと思います」と言う。

海外に出掛けるだけではない。春にはカナダから訪れる100人以上の短期留学生を生徒の家庭にホームステイさせ、家族ぐるみで交流する。

こうした経験は、生徒の国際意識を高めるだけでなく、「発音と聴く力は大学生なみ」といわれるほどの英語力のもとになっている。それだけに英語の授業には力を入れていく。中1から高1は週6時間、高2は週7時間、高3になると週9、10時間が英語の授業。また中3からは2段階に分けた習熟度別授業も行っている。

「わからない人にはわかるまで教えてくれる、できる人はより伸びることができるので、すごく好評です。英語はちょっと苦手だったので、習熟度別クラスになってから英語の成績も上がってきました」(北川真珠美さん)

ネイティブの教師による英会話の授業も充実している。英語教師を招いているイギリスの王立教育

機関の縁、自任時代のサッチャー女史が同校を訪れたこともあるという。

「英語暗誦大会というのがあります。私も参加して3年の部で3位になりました。発音やイントネーションだけでなく、表情なども審査されるので、鏡を見て練習したりするんです」

「英検にも一生懸命で、みんな最低3級は取らないと恥ずかしい感じ。準2級・2級にチャレンジする人も多く、卒業までに2級合格が目標です。土曜日には講習もあります」(宮城亜希さん)

4大志望者の増加

類型導入や進学指導も

同校では17年前から週5日制を導入しているが、「5日通学、6日学習」がスローガン。土曜日は「お休みの日」ではない。学年初めに「本を50冊読む」とか「英会話を勉強する」「家族全員のゆかたを作る」といった、土曜日の目標を各自が設定し、自分で計画を立て、自分で学ぶ。また土曜日には、教科の補習や英検の講習が行われたり、理科の校外学習や実験学習が行われたりしている。

「初めの頃は学校に行けないのがつまらなかったけれど、今はのんびりしたり、勉強したり、自分の計画で使えるのからとってもいいです」(北川さん)

系列の短大と医療系の専門学校を併設している同校だが、最近

4年制大学への進学希望者が増えてきているため、受験へのサポートにも配慮している。

高2からはI類(推薦・短大志望者)とII類(4年制大学志望者)に分かれる。II類は文系か理系かにより選択科目も多い。高3の夏期講習では予備校講師を招いた20日間40時間の英語講習をはじめ、主要教科の講習が行われている。

「進路指導の先生のところに行ったら、とてもいいねいに相談に乗ってくれたので感激しました」(宮城さん)

カフェテリアでの給食は愛情あふれる手作り

完全給食があるのは、私立では珍しい。しかも3カ所のカフェテリアでの給食は、季節や季節行事に合わせたメニューの手作りというように、食文化へのこだわり

が感じられる。また化学調味料を使わない気配りもされている。「フルーツ、ゼリー、アイスクリームなど必ずデザートがつくんです。これが楽しみ」(北川さん)

「高校生は給食ではなくなりますけど、前日までに希望すれば同じものが食べられます。めん類は人気があるので希望者が多いんです。この給食は昭和20年代から続いているのだから驚き。

「カフェテリア」なんて今は誰でも知っている言葉ですけど、当時はそれはしやれていたと思いますよ。

カフェテリアでは手作りケーキも作る。「クリスマスとひな祭りには手作りケーキが全員に配られます。とても楽しみです。きれいにラッピングしてメッセージカードもついているんですよ」(小島しのぶさん)



カナダ研修
ホストファミリーと
パーソンにて



ヨーロッパ研修
クローンマクノイズにて

単なる給食を超えて、生徒への愛情と文化の伝達といった心が感じられる。

◆ここに力を入れていきます◆
(小林弘志校長に聞く)
中高一貫の6年間を

メリハリをつけて過ごす

—教育の上でどんなことを大切にしていますか。

「創設者森本先生のモットー、Head(頭)創造、Heart(心)情操、Hands(両手)勤勞」の3Hのバランスのとれた女性に育てること、新渡戸先生の教えであるセンス・オブ・プロポーション(それぞれの違いを認め合う国際的な感性)を大切にしています。新渡戸先生は教職員心得で、親心を持って教育に当たれと論じていますが、この精神は今も生きています。

中高一貫教育を行う上で、6年間をメリハリをつけて過ごさせたいですね。2年(と)に前期・中期・後期と分けていますが、1〜2年生の前期では感性を育てることを主眼に、茶道と華道の授業を行っています。3〜4年生(高1)の中期は一番大切な時期です。今年度から習熟度別授業を導入するなど、指導に工夫しています。5〜6年生(高2〜高3)の後期は進路に向けた準備時期として、類型制度を導入し、受験に対応できる指導を行っています。

—進路指導では具体的にどんな

ことをしていますか。

「系列の短大へは優先的に進学できますが、4年制大学への進学希望者が増えてきましたので、4年前からカリキュラムの大幅な見直しを行いました。そして5年生(高2)からI類とII類に分けて進路別に指導しています。94年からは夏期講習に予備校の講師を招くなど積極的な指導を行い、合格実績も出始めています。

学習指導情報

◎英語の授業時数の増加

中学1・2・3年 週6時間

(内英会話1年は2時間)

2・3年は1時間)

高校1年 週6時間

高校2年 週7時間

高校3年 週9〜10時間

◎習熟度別学習の実施

数学 高1 英語中3・高1

◎夏期講習の実施

高3 英語 20日間 40時間

(予備校講師に依頼)

数学 14日間 24時間

日本史・世界史・地理・政治・倫理 各5日間50時間

国語(小論文・古典文法)

5日間10時間

理科1・生物・化学

各5日間20時間

高2 英語 5日間 10時間

国語(小論文・古典文法)

各5日間10時間

日本史・世界史 各5日間20時間
生物・化学 各5日間15時間

◎補習

個別・グループ別等希望者または指名をして早朝および放課後または土曜日に各教科が自主的に計画し実施している。

◎英検受験指導

毎日放課後、コンピュータの英検ソフトを利用して各自が教師の指導のもとに学習している。

中1 5級全員 中2 4級全員

中3 3級

高校 3級 準2級 2級の全員

合格をめざす。

今年6月の受験者363名

昨年度合格実績2級1名準2級

44名3級160名

◎その他

週5日制

高校より入学者は1年間別クラス

高2より類型制土曜日を利用した

社会・理科の校外学習

留学制度設定 マルチメディア教室開設

生活指導情報

日常の重点指導

「清潔・端正・品位」を目標に、

明るくけじめのある生活、いじめ

のない雰囲気作り

実践活動として

☆授業に組み入れる

日本文化を学ぶ…中学1年茶道

年間約25時間(1クラス講師3名)

2年華道年間約25時間(1クラス

講師2名)

☆LHRに組み入れる

礼法・マナー指導…全学年共講師

を招いての講話、実習を年間最低

2時間

講話・女子礼法、日常生活のマナー

など

・企業での社員教育から

(スチューデントなど)

実習・テールマナー(洋食和食) ・和室での立ち居振るまい

性についての指導…全学年共講師

を招いての講話、HRでの

話し合いを年間最低2時間

講話・前期(思春期についてなど)

保健室

中期(性について)

北村邦夫氏 (日本家

族計画協会クリニックス所長

後期(性、エイズなどにつ

いて) 山本直英氏

(人間と性教育研究所所長)

文化人による講演…学年毎に計画

丸山浩路氏(コミュニケーション

大村典子氏(音楽家、講演多

数) 田部井淳子氏(登山家)

☆委員会活動として

地域の清掃…年間6回

(通学路の清掃)

駅、通学路でのマナー指導

(必要に応じて)

☆給食 1〜3年生の完全給食



給食風景



茶道



華道

東京文化小学校の 学級通信

小学校長 山田庸夫

東京文化小学校の大きな特色は創立以来、一学年一学級の小規模校としての教育を貫いて今日に至っていることにあります。

児童募集に際して発行している「学校案内」冊子にも、ポスターにも、このことを明記し、世の期待に答えようとの意思を表わしています。「大きな夢を育てる小さな学校」——これが私どもの学校の旗じるしの一つです。

昨今、東京の区部の公立小学校も地域の児童数の減少にもなっており、一学年一学級の学校も存在するようになってきました。しかも一学級の児童数が三十名以下という場合があります。

こうなってくると、一学年一学級制が、必ずしも東京文化小学校だけのものとは言えない現実、私たちは直面していることになりました。何も高い納入金を納めてまで私立に我が子を入学させることではない、という声が当然のこととして聞こえてきます。東京文化小学校が、こうした世の親の声をどのように受け止め、どのように応答していくべきかが、私どもに与えられる新たな課題となってきました。(学校規模、一学級あたり

りの児童数という、謂わば物理的な側面に依存して、学校の存在理由を世に問うことはできない状況下に私たちはおかれています。)

もしも東京文化小学校が、規模の小さな学校であることを唯一の旗じるしとしてきたのであれば、昨今の少子化傾向が進めば進むほど、学校の存在理由は失われ、存続が危ぶまれることになってしまいうでしょう。

しかし、私たち東京文化小学校は、教育理念に基づいて一学年一学級を貫いてきました。少子化の結果としてそうなったというのではありません。それは、もう一つの柱としている「一人ひとりを大切にする指導」が、より効果的に学校教育の諸活動を通して実現できるようなためです。掲げた旗じるしが単なる打ち上げ花火でなく、私どもの教育を通して、ここに学ぶ児童一人ひとりの人間形成につながる実を結ぶようにとの思いからです。

その思いは、各学年ごとに発行している「学級通信」の中に具体化されています。一般的にどの学校でも「学級通信」とか「学年通信」は作られています。私自身

も前任校時代に何種類かの「学年通信」を発行してきました。でもそれは入学当初の一年生の一定期間を除けば一週間に一回の半載版が精一杯でした。

ところが三年前に本校に奉職して驚嘆したことは、学年通信の発行が週刊どころではなく、週に何回も、しかも時にはB4版の紙に複数ページで発行されていることでした。それぞれの学級通信(学年通信)には、クラス内のさまざまな出来事、それに基づく学級担任の思いが記され、それはそのまま(生きて活動している)クラスの雰囲気リアルに写し出す鏡となっていました。

学級通信には、それぞれの担任の思いがこもるタイトルがつけられています。

- 一年 大場学級「ちいさこべ」
- 二年 佐藤学級「ハート」
- 三年 岩山学級「大むぎ小むぎ」
- 四年 安蔵学級「さらぼし」
- 五年 飯田学級「スクラムくん」
- 六年 朝倉学級「でめ通信」

これらのタイトルは、だいたい担任の先生と共に動いて回っています。例えば一年通信「ちいさこべ」は、この三月までは卒業した44期生とともに四年、五年、六年と歩んだ大場先生のタイトルで、入学した50期生の通信に受け継がれました。故山本周五郎氏の文学作品「ちいさこべ」に由来するものだそうです。



「ちいさこべ」の52号(一学期最終号)には、先生のこんなメッセージが記されています。

「終業式です。今日で一学期も終わりです。初めてこの教室にみんなを迎え、毎日明るい笑顔と楽しい会話にあふれるクラスをという願い通り、天使達の中で常に優しい気持ちで過ごせました。(中略)一年生と一緒に植えたあざがおも、つるが出たり、葉っぱの枚数が増えたり、成長を見ると嬉しくなります。夏休みが明けて、また「おはよう」と声をかけ合えることを楽しみにしています。」

「五年通信「スクラムくん」には「あゆみ」(注……高学年用の通知表を作成する飯田先生のこんな心境が記されています。この一学期間、頑張りを見せてくれた子供たちを前にして、何も評価しなかったり、評価できないという態度とは、子供たちに失礼でもあり、(中略)でもいつも思



球技大会で

う。なかなか濃厚であり複雑であるこの学期の事柄をたつた3種の記号、わずか数行の言葉で一刀両断の如く記すことにはちゅうちょする。(後略)”。

平成10年度児童募集

入学説明会 9月18日(木) 午前9時40分

募集人員 男女合わせて約四十名

◇一次募集 男女約30名 (内部進学を含む)

願書受付 10月20日、11月12日

入学考査 11月14日(金)

合格発表 11月15日(土)

◇二次募集 男女約10名

願書受付 11月17日、11月26日

入学考査 11月28日(金)

合格発表 11月29日(土)

☆入学案内は小学校受付で配布中
お問合せ

〇三三三三一〇二四

♪ようちえんだより♪

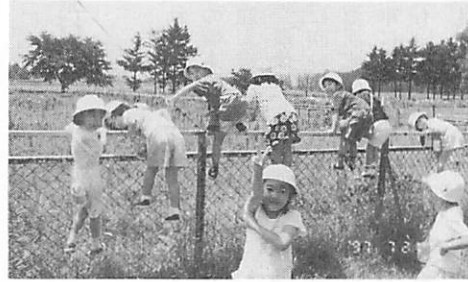
何でも食べる子、

丈夫な子



茄子の収穫 (こぐま組)

幼稚園に入園した子どもたちにとって、一学期は初めてのことがかりです。その中の一つ給食は三歳になったばかりで入園したこぐま組にも大きなでき事でした。家庭で慣れ親しんだ味と違う上に、ひとりでナフキンやスプーンを並べたり、時には苦手をヌメニューをいただくこともあります。



浅間高原宿泊保育

最初の給食の日、スライスしたきゅうりをひと口かむのに、何分もかかったN君。反面、まわりの子のおいしそうにたべている姿に誘発されて、家では口にしなければ白玉や魚料理をパクパク食べ、親も保育者もびつくりさせられることもありました。五月の連休明け、プランターに赤かぶ(二十日大根)の種を蒔きました。気温もあがり、子供たちの愛情あふれる世話で、立派な赤かぶが収穫できました。ちよつと

ほろ苦さのある赤かぶですが、その後、給食のサラダに入っている「あつ赤かぶだ」といち早くみつけ、苦手だったきゅうりと共に大きな口の中へ……。

多勢で楽しい雰囲気の中で、ただこの影響の大きさを感じた自分たちで育て、成長していく様子を見たあとは、味の方もおいしく変わってしまうようです。

園庭では他にも、なす・いんげん・杏・梅・びわが子どもたちの目や舌を楽しませてくれました。夏休み明けの九月には、甘い香りを漂わせているぶどうの収穫があります。

神様がくださった自然の恵みに気づき、感謝する心が育ち始めた子どもたちです。

(赤松 緑)

神様からいただいた力

秋を迎え、年長組のことも違も色々な活動を通して成長して来た様子が見られるようになりました。

五月、「先生、できるから見ていてね。」と嬉しそうに知らせに来たKちゃん。振り向くと雲梯の端から端迄、進んで行く姿が見えました。よく見るとKちゃんの手

のひらには、豆ができています。この豆は、例年、皆が「がんばん豆」と呼んでいる物で、コソコソ

と頑張った子どもにも出来る物です。そして、「がんばん豆ができて、おめでとー。」という丸先生手作りの特製カードをもらって満足気でした。

その後、興味をもった子が、取り組み始めました。「先生、どうやれば出来るの?」となかなか進めないでいたS子ちゃんも毎日毎日やり、七月には、全部出来るようになりました。

神様から一生懸命する力をいただいた子ども達は、これからも更に成長していくことでしょう。

(上野純子)

子供の教育相談室

お気軽に相談を

子どもの自殺、家庭内暴力、登校拒否など、子どもの教育をめぐる諸問題が、新聞の社会面をにぎわしている昨今です。

東京文化幼稚園では、一人一人のお子さまの健全な成長を願い、少しでもお母様方のよき相談相手になりたいと、子どもの問題では第一人者の石井哲夫先生にご協力頂いて、「子どもの教育相談室」を開設してから十三年目を迎えました。

石井先生は、日本社会事業大学

平成十年度 園児募集

園児募集

公開保育日 9月18日(木)

雨天の場合 9月19日(金)

(9:30~11:00)

入園説明会 10月8日(木)

(2:30~3:30)

願書受付 10月31日(金)のみ
入園児諸検査11月1日受付順に実施

三歳児男女 40名

四歳児男女 10名

五歳児男女 若干名

を募集します。幼稚園案内を配布中です。(無料)

東京文化幼稚園

お問合せ 三三八一―一八三

同窓会国内旅行

甲州路へのバス旅行

短大31 大村富美子

今年創立七十周年、行事も多いため、気軽に参加頂けるよう日帰りのバス旅行にしました。九月三日、心配された台風がそれで好天に恵まれた中、四名の参加者を乗せて新宿を出発。都会の喧騒を後に、山々に囲まれた相模湖、自然豊かな風景を眺めながら、甲州路を一路河口湖ミュージアムへ。

美術館は、人形作家与勇輝の作品を展示。「布の彫刻」と称賛される作品の数々は、語りかけているかのような温かさを感じ、又妖精チユチユにはいつも魅せられます。

次いで「久保田一竹記念館」へ回り、室町時代に栄えた文様染を、「二竹辻が花」として現代に蘇らせた久保田一竹の作品を見学。富士山や四季をテーマにして染められた辻が花の幽玄、且莊嚴の世界にひたる事が出来、唯々ため息のみでした。

昼食は、快晴なら富士の雄姿と逆富士が見られる静かな湖畔の「うぶや」にて松花堂弁当を頂きました。色彩り美しく盛り

ました。目的地はハワイ諸島、カウアイ、マウイ、オアフ(ホノルル)の三島巡り

日程 平成十年一月三十日(金)から二月五日(木)までの五泊七日
費用 三十一万円(予定)
定員 三十名で締切ります。
※資料請求は、同窓会事務局まで。

観劇会を終えて

恒例の観劇会が六月七日(土)芸術座に於て行われました。今年の演目は「渡る世間は鬼ばかり Part III」、泉ピン子、山岡久乃、藤岡琢也さん等ベテラン陣の熱演により、笑いあり、涙ありの三時間でした。

幕間では、なつかしい方々の語り合いがロビーのあちらこちらで見られ、同窓会ならではのなごやかな雰囲気です。終演後は花束贈呈、出演者全員による舞台挨拶と続き、舞台と客席が一体となり大きな拍手のうちに幕を閉じました。

多くの方々のお力添えにより七五〇席完売となり、百万円を超える純益を得ることができました。心よりお礼申し上げます。(事業部)

謹んでお悔やみ申し上げます(敬称略)

同窓生

佐野 美津	川口 テイコ	笹崎 米子	鷗飼 芳枝	児玉 信子	藤田 六子	清家 ゆき	梅原 房子	石渡 数子	池田 邦子	山口とし子	昆野 芳枝	杉原 花子
経専23	経専23	経専21	経専21	経専20	経専19	経専18	経専18	経専18	経専18	経専16	経専10	経専7
渡辺 敬子(旧姓名)	大川ふみ子	山田 泰子	吉武登和子	成田 タツ	木戸 善子	松元寿美子	山崎美恵子	高里恵美子	佐々木秀代(旧姓腰塚)	春日 朋子	森本 篤子(短大)	白鳥 雅子(短大)
経専24	経専25	経専25	高女3	高女8	高女15	高女18	高女20	短大32	高女36	高校37	短大29	短大29

会計報告

一般会計収支 (平成8年度) (円)		
収入	会費収入他	5,998,887
	前年度より繰越	83,968
	計	6,082,855
支出	諸費用	5,661,409
	次年度へ繰越	421,446
	合計	6,082,885

資産残高(平成9年3月31日) (円)		
一般会計	現預金	13,970,897
施設拡充準備金	現預金	9,398,740
事業部会計	現預金	15,610,692
会報部会計	現預金	288,063

詳細は幹事会資料をご請求ください。

創立七十周年 記念募金について

学園では、創立七十周年記念事業のために学園関係者に募金をお願いしています。同窓生には一口五千円、なるべく二口以上というお願いを昨年七月に発送し、今年三月までに次のご協力をいただきました。

一、五一二万八、〇〇〇円(六件)
今年もすでにご協力いただいた方も含めて、七月に発送し、八月まで次のご協力をいただきました。
四九〇万六、〇〇〇円(三三件)
累計で二、〇〇二万四、〇〇〇円に達しました。

学園全体では、八月までに累計で次の金額に達しました。
六、九〇二万六、四六六円(一四三件)

学園では皆様のご協力を深く感謝しております。この浄財を基にこれまでに、中庭の緑化、新渡戸先生像の新規建立、森本先生像の移転、コンピュータ教室などの教育設備の整備、地震対策などを行い、さらに教育環境の維持、向上に努めてまいります。

同窓生でお子さまが在学されている場合には、別に在学者の保護者としての寄付のお願いが送られています。学園ではご無理のない範囲でご協力いただきたくお願いしております。

東京文化学園同窓会理事名簿

平成9年10月1日現在

名誉会長	白井スエノ	〒166	杉並区堀の内1-10-6	☎ 03-3312-0428
副会長	長岡文子	〒174	板橋区成増4-21-3	☎ 03-3930-6011
副会長	石川悦子	〒227	横浜市青葉区桜台25-1 4B-202	☎ 045-982-1153
監査	赤木君江	〒114	北区堀船3-34-8	☎ 03-3919-5898
	青木純子	〒160	新宿区若葉町2-8-7	☎ 03-3351-4666
		〒176	練馬区中村3-5-16	☎ 03-3999-4212
専門部				
幹事	篠原初江	〒187	小平市花小金井2-31-23	☎ 0424-65-1997
副幹事	中川悦子	〒169	新宿区百人町1-21-9	☎ 03-3361-6474
	黒沢教子	〒167	杉並区天沼2-15-2	☎ 03-3391-7351
高女部				
幹事	竹の谷智子	〒272	市川市東菅野1-3-23-403	☎ 0473-25-2733
副幹事	伊藤美和子	〒167	杉並区天沼2-36-22	☎ 03-3398-0062
	多胡愛子	〒112	文京区千石4-34-7	☎ 03-3946-9980
短大部				
幹事	大村富美子	〒410	沼津市江原町13-22	☎ 0559-21-7185
副幹事	中谷容子	〒229	相模原市宮下本町3-25-5	☎ 0427-74-3313
	坂田マサコ	〒156	世田谷区野毛1-15-27	☎ 03-3705-0551
	木村恵子	〒180	港区芝5-22-1	☎ 03-3451-1237
	高橋芳子	〒166	杉並区高円寺北2-7-6 高円寺名店ビル304	☎ 03-3337-1401
医技部				
幹事	小栗登子	〒112	文京区小石川5-11-15 小石川ビューパレス902	☎ 03-3816-6146
				勤務先 ☎ 03-3813-3111
副幹事	白石一枝	〒167	杉並区西荻北4-5-30	☎ 03-3390-5052
	安房代	〒164	中野区東中野3-4-8 桜山ハイツ101	☎ 03-3364-6029
高校部				
幹事	三雲保子	〒166	杉並区和田1-67-17	☎ 03-3381-1049
副幹事	佐藤直子	〒184	小金井市緑町5-10-22	☎ 0423-81-1080
	渡部英子	〒166	杉並区和田1-12-10	☎ 03-3380-1256
小学校				
幹事	能村佳子	〒166	杉並区和田1-28-7	☎ 03-3384-0364
	有泉迪子	〒166	杉並区和田1-64-6	☎ 03-3383-9200
特別理事				
内線番号				自宅 ☎
226	森本晴生			☎ 03-3939-8171
238	鷺見美智子			☎ 03-3981-4470
224	小松洋子			☎ 0423-84-5661
284	小島恵子			☎ 03-3299-4772
	小島圭子	〒166	杉並区和田1-15-15	☎ 03-3384-4639
校内理事				
	佐伯かよ子	☎03-3381-0121	医技	☎ 0423-26-1247
268	青木弥生	☎03-3381-0197		☎ 0298-36-3465
229	杉山佐百合			☎ 03-3749-6679
231	伊藤由美子	☎03-3381-0708		☎ 03-3368-3102
事務局				
232	同窓会 室			
	武田 恵	〒165	中野区沼袋2-3-12	☎ 03-3389-3710
	清野 恵	〒102	千代田区四番町8-401	☎ 03-5276-6543

非課税の扱い
所得税を納めている方が、この募金に協力された場合には、所得税の「寄付金控除」に該当します。法人税の計算で損金に計上することも可能です。非課税手続きの詳細については、学園の事務部長にお問い合わせください。

学園祭

10月30日(木) 芸術の会(幼小)

会場 なかのZERO

ホール

11月2日(日)

展示の会

11月3日(月)

会場 各校舎

(幼稚園は3日のみ)

11月2日(日)

バザー

11月3日(月)

会場 各校舎、グラウンド

同窓会室

○詳細は当日のパンフレット

でご確認下さい。

学園の歴史展を行います

学園祭には同窓会館で

11月2日(日)
3日(月)

午前10時～午後3時

バザー

作品展示

☆目的は同窓会室の整備・充実のための資金づくりです。

☆集会室では、クラス会や英会話教室などの小さな集まりが活発に行われています。卒業生の皆様、学園祭を機会に、どうぞ同窓会館にもお立ち寄り下さいませ。

☆バザーに献品いただけます方は、「バザー」と明記して、10月25日までに同窓会にお届け下さいませ。

バザー担当 三雲 渡部(睦子)

☆趣味の作品をお持ち寄り下さいませ。

☆書道、絵画、陶芸、写真、和洋裁、手芸、アクセサリ、編み物などの作品展示を通じて、交際の幅が広がります。

☆ご希望の方は、作品の即売もいたしますので、よろしく願います。

☆ご出品は、品目と数をお知らせの上「作品展示」と明記して、10月25日までに同窓会にお届け下さいませ。

作品展示担当 中谷

年会費納入についてお願い

すでにご承知のことと存じますが、卒業後十年を経過すると年会費(毎年一、〇〇〇円)をお納め頂くことになっております。

本年は昭和六十二年三月に卒業された方までが含まれます。当該者全員に年会費用の振込用紙(青色)を同封致しました。

1 年会費は必ず青色の振込用紙を使って下さい。

2 振込用紙には必ず氏名・住所・電話番号と最終卒業校・卒業年(卒業年度ではありません)・整理番号(封筒宛名シールに記載)を正確にご記入下さい。

3 年度末会計処理の都合上、出来るだけ二月末日までにお振込み下さい。

4 取扱い上の事故を防ぐため、なるべくこの青色の振込用紙で郵便局からお振込み下さい。またやむを得ず現金で直接納入される場合でも、青色の振込用紙に記入して添えて下さい。

年会費の納入をお忘れになつておられる方も、同窓会活動の充実・発展のために、是非また本年から新たに協力下さいませように。

一時に何千人という数の金銭の取り扱いになりますので、どうぞ前述のこと、よろしくご協力お願い致します。また、同窓会室に個人納入台帳が備えてございますので、ご来校の折にでも、たまにはご自分の納入状況を、お確かめ下さるのもよろしいかと存じます。

「同窓会七十年史」

いよいよ刊行

七十年史委員会委員長

石川 悦子

皆様の御尽力で七十年史も印刷の段階に入りました。皆様のお手もとは、十一月中旬までには届くようにと委員会では準備をしております。楽しみにお待ちしております。

予約していない方々のために、十一月二日・三日の学園祭と、十一月十六日の同窓会総会でも販売いたします。(三千円)有難うございました。

編集後記

◎ 原稿を募集しています。長さは本文をご参照に。薄謝呈。

発行所 東京都中野区本町
6-38-1 〒164-8638
東京文化学園同窓会
電話 03-3381-0196
(内線 232)
FAX 03-3381-7866
発行人 湊 くに
編集人 青木 純子
印刷所 株式会社 神木印刷